

2022年5月：JaCVAM活動マンスリーレポート

NO.	項 目	記 載 内 容
論文・総説		
1	著者名	足利太可雄
	論文題名	免疫毒性に関するAdverse Outcome Pathway (AOP) の開発およびその活用状況について
	雑誌名、巻（号）、ページ、年	レギュラトリーサイエンス学会誌, 2022;12(2):221-231. doi.org/10.14982/rsmp.12.221
学会発表・セミナー発表		
1	発表者名（口頭）	小島 肇
	演題名	MPSの標準化のための国際戦略
	学会名, 発表年月及び場所	第29回HAB研究機構学術年会(2022.5.19, 東京)